

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2023年9月

第113号

主な予定

9月3日(日)

15:20~15:40

ユネスコ活動研究会

於: 青山学院大学

9月5日(火)

10:00~11:30

14:00~15:30

カシニワウォーク

9月21日(木)

10:50~12:50

松葉幼稚園来園

10月6日(金)

7日(土)

トラップ調査補助

10月26日(木)

11月9日(木)

9:55~10:40

柏市観光協会主催「市内見
学バスツアー」

こんぶくろ池の環境保全とSDGs

日本ユネスコ協会連盟 未来遺産委員会
土屋 誠様

「NPO 法人こんぶくろ池自然の森」の皆さんの熱心な活動を見学させていただきました。多くのメンバーによる森の整備活動がほぼ毎週実施されていること、環境教育を熱心に進められていること、大学の研究者を始め多くの方々と連携して活動されていること、100年という長期的な目標を持って森の育成に努めておられること、などの内容は未来遺産運動が目指している考え方にマッチした素晴らしい活動であると感じました。

日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」の登録証伝達式では里山とSDGsをキーワードにしてお話しする機会を与えていただきましたので、その概要を紹介します。

1. 里山

里山という単語が出てくる江戸時代の古文書が、佐賀県、石川県、愛知県などにおいて見つかっているようです。昔から全国各地で、村の近くの山と奥山を分けて考える見方が存在していたと考えられます。森林をこのように2つに分ける考え方の存在はその後に発行された文書の中にも確認できます。1970年代になって京都大学の四手井綱英先生が「農地に続く森林で、もともとは薪を集めたり、炭を作ったりするために利用されていた林を里山と呼ぼう」と提案され、広く受け入れられて現在に至っています。こんぶくろ池の周りの森は江戸時代からこのような形で利用されてきたことが記録に残っていますので、この地域の人々は里山を生活圏の一部として暮らしてきたということが出来ます。

近年、人々の生活と自然との関わりが大きく変化してきたことを考えると、里山という語が表す内容について改めて考える必要があるかも知れません。大都市周辺の場合に当てはめると、「都市の近くにある林で、人々が自然との触れ合いを楽しむ区域」ということになるでしょう。

こんぶくろ池自然博物公園には多様な生き物が生息しています。公園内ではさまざまな整備が進められており、湿地、林、芝生地、草地等のゾーンが形成されつつあります。これは生物にとって多様な環境が提供されることを意味していますから、近い将来、それぞれの環境に適した多くの生き物が生息するようになり、全体として高い生物多

様性が維持されるでしょう。100年後、どのような森に育ち、どのような生き物の賑わいが見られるか、大変楽しみです。

こんぶくろ池の昔話にウナギが登場します。ウナギは池や川と海を行き来していますが、現在のこんぶくろ池の様子から海とのつながりを想像することは困難です。伝達式に参加しておられた方から、市役所の壁に掲げられている昔の航空写真を見るとこんぶくろ池は他の水系とつながっていたことがわかる、という情報をいただきました。昔、遠くの海で生まれたウナギの稚魚は長い旅を経て、こんぶくろ池にたどり着くことができていたのでしょうか。こんぶくろ池と周辺の地域の関わりや、生き物と人々の関わりを知ることが出来ました。



柏市のむかし話「こんぶくろ池（二）」柏市観光協会のホームページから許可を得て転載。

2. SDGs

2015年に持続可能な開発目標として国連が提案したSDGsは大変ポピュラーになりました。これには17の目標が設定されていますが、目標達成のための活動内容は私たちが自ら考えて行動しなければなりません。それらを考える上では各目標のもとに示されている合計169個のターゲットにヒントを見出すことが出来ます。例を示します。

目標11は「住み続けられるまちづくりを」です。この目標には10個のターゲットがあり、11-4のターゲットは「世界的に重要な建物や自然も守るよう、もっと努力する」と説明されています。「世界的」という部分を「柏市の」と読み替えて、私たちがすべきことを考えてはいかががでしょう。



目標12は「つくる責任、つかう責任」と記されています。この目標には11個のターゲットがあり、12-8のターゲットは、「2030年までに、人々があらゆる場所において、いつまでも自然と一緒に暮ら

すことが出来るようにするために話し合いを進める」と解説されています。これは100年後を目指して素晴らしい森を育てようと話しあっておられる皆さんのことではないでしょうか。



SDGsには他にも皆さんの活動と関連がある多くの目標やターゲットが紹介されています。ご活用ください。

3. 柏市まるごと博物館

2022年12月にカナダのモントリオールで開催されたCOP15（生物多様性第15回締約国会議）において、2030年までに世界的に取り組む23の目標の一つとして決定されたもので、「2030年までに陸域、陸水域、沿岸域及び海域の30%以上を守り、管理する」という内容です。

世界的なアリの研究者で、ピューリッツァー賞を2度受賞したことで知られているE.O. ウイルソン先生が、2016年に著した「Half-Earth: Our Planet's Fight for Life」という本で、自然を守るために地球の半分を保護区にしよう、主張しています。

私はお話の最後に「柏市まるごと博物館」というアイデアを提案させていただきました。自然・文化・歴史は不可分のものとして保全する必要があるという考えが常に私の頭の中をめぐっています。特に自然に対しては、今までいただいていた恵みに感謝し、恩返しをしようという気持ちを込めました。

これらのアイデアを実現させるためには、多くの分野に関わる皆さんの連携が必要です。パートナーシップをキーワードにしたSDGsの17番目の目標達成にもつながります。皆さんの活動がさらに発展し、人と自然とのお付き合いが良い形で継続され、素晴らしい環境保全モデルが構築されることを期待します。

平成五年夏季こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

俳句の部

夏木立騒ぐ葉越しに舞う小鳥	あおは もゆ
ジリジリと天道虫の星数え	あおは もゆ
万緑や百年後見るこんぶくろ	木下勇二
弁天のほとりにひとり秋を待つ	木下勇二
偲ぶ日や紅白盛る百日紅	清美
愛猫のなくて宝と知る身かな	清美
園路沿い狐のかみそり立つ女	昇笑
物価高ビールの味の苦み増す	中川望
やり残し何があろうか夏舞台	ノー・ボール
葉の傘に烈日を受けプルメリア	秀夫
梅雨明けて木崎湖畔の風涼し	米山要
あずきバー猛暑乗り切る必需品	米山要
朝散歩交わす挨拶「暑いです」	米山要
忘れがち笑顔で頷きプラス言葉	米山要
遊歩道を白くまぶして栗の花	わらしべ

短歌の部

しっとりとしたたる緑浮かび来る	
夜の闇にも目を閉じてさえ	かわもこ
「森泉」千代に八千代の贈り物	
口に含むや踊る花畑	昇笑
飛鳥にて幾多の民を救いつつ	
平安祈る 奈良の御仏 (みほとけ)	中川望
盂蘭盆会今亡き父母に報告す	
新たな曾孫の無事生誕を	中川望
にわか雨傘なく我が身を打たれとも	
恨むことなし炎天の下 (もと)	中川望
先達が地道に紡いだ活動に	
光をあてた日本ユネスコ	ノー・ボール
カキツバタとミズバショウの額縁に	
燧ヶ岳の勇姿映り込む	秀夫
帰り来ぬ我が故郷の筑波嶺よ	
ただいたずらに齢重ねき	吉川億空
紅、黄色混じりて咲ける夏の花	
かの原爆の作家忘れじ	吉川億空
ナラ枯れでつuitえた古木の根元から	
伸びる新芽の姿逞し	わらしべ

あとがき

コロナ禍が鎮まりつつありほっとしたのも束の間、今度は歴史的な猛暑に見舞われ暑さでうんざりする日々が続きました。

それでも、今回は新たに1名の方が加わり、延べ12名の方から俳句十五句、短歌十首が寄せられました。猛暑を跳ね返す爽やかな作

品、生活実態に根差した「あるある」作品、家族への想いが詰まった作品等に元気づけられます。同好の士は着実に増えており喜ばしい限りです。過日、「NHK スペシャル・コロナ禍・響き合う歌」のなかで、現在短歌は若者の間で大ブームだそうです、若者に負けられませんよ。

今回は秋季（9月～11月）になりますが、思い立ったが吉日、事務所前の投稿箱の他、世話人あてのメールでも結構ですので投稿をお待ちしています。

8月理事会

(日時) 2023年8月27日(日) 13:00～16:50
 (場所) 管理棟
 (出席者) 議長(理事長): 萩原
 出席者(理事) 中川・上田(書記)
 (会計) 山上・(顧問) 岡本・(監事) 松田・
 (会員) 川瀬

1. 審議検討・確認事項

(1) こんぶくろ池自然博物公園の北側水路について

- 9月7日(木) 15:00～17:00 に下記メンバーが出席する打合せが開催される。

柏市公園緑地課(主催部門)、千葉県柏区画整理事務所、柏市経営企画課(下水道の計画担当)、柏市下水道工務課、NPO法人ぶくろ池自然の森(上田・山上・川瀬・中川)

- 当打合せに先立ち、柏北部中央地区土地区画整理事業施行に伴うこんぶくろ池自然博物公園内湿地環境への影響等について、NPOが考える問題点及び当日確認すべき事項などを整理した。

(2) スズメバチ等の蜂の巣対応の文書化について

- 来園者の安全確保と生態系維持のバランスに配慮した対応ルールを継続検討中であり、ルール化後は柏市とも共有する。
- ルールができるまでの当面の対応としては「園路沿いにスズメバチの営巣を確認し、来園者に被害が及ぶことが予想される場合は、柏市に駆除依頼する」こととする。
- 審議記録を、別途作成する。

(3) (10/15(日)) きのこ観察会の準備状況について

- 広報かしわ9/1号に案内記事掲載。これに合わせてホームページ、柏の葉ナビでの広報を開始。
- チラシ印刷 8/28 発注
部数: 200部
配布先: パレット柏、KAMON、UDCK、県民プラザ、田中近隣センター、柏の葉サービスコーナー、掲示: 駅前マンション、園内(正面入口、管理棟前、一号近隣公園掲示板)
- 駐車場使用依頼 9月上旬予定
- 申込受付 9/15～23(16:00)

- ・ 観察場所の草刈り：9/24 予定
- (4) (10/22 (日)、11/1 (土)、11/19 (日)) 「里山の保全活動体験会」の準備状況について
 - ・ 公園緑地課への「広報かしわ 10/1 号」への案内記事掲載の依頼終了 (7/28)
 - ・ 9 月中にチラシを作成して印刷。10/1 までに配布完了予定。
部数：300 部
配布先：パレット柏、KAMON、UDCK、県民プラザ、田中近隣センター、柏の葉サービスコーナー、公園緑地課
掲示：駅前マンション、園内 (正面入口、管理棟前、一号近隣公園掲示板)
 - ・ 受付開始 10/1 に合わせて、ホームページ、柏の葉ナビでの広報開始。
 - ・ 参加人数確定は、各実施日から 1 週間前の締め切り日。なお、募集人員に空きがある場合は直前まで申し込みを受け付ける。
- (5) (11/26 (日) 実施予定) ワークショップイベントの開催について
 - ・ 徳永理事の紹介で、4 名の会員が NPO リトカルのイベントを見学し、銘板作りに参加した。
 - ・ 今後、園内で伐採した木を利用して、工作班が銘板の作成を試みる。材料は、銘板の短径の太さの針葉樹または広葉樹。皮をはがし、材を銘板の厚さに斜めに切り表面を磨く。
- (6) ユネスコ HP への当 NPO のイベント情報掲載について
 - ・ 当 NPO の主だったイベント等についてユネスコ HP に掲載を依頼する。
 - ・ 各イベント担当者が報告や写真を準備し、担当者 (山上) に送付する。
 - ・ 先ずは、きのこ観察会について報告する。
- (7) クロツバラ、クロウメモドキ、ノリウツギの試験植栽について
 - ・ 園内にある複数の開けた場所を検討し、試験植栽を行う。
- (8) J:COM よりの取材依頼について
 - (その 1)
 - ・ J:COM は契約者及び J:COM アプリをスマホにダウンロードした人は無料で視聴できる
 - ・ 「Live ニュース」(月～金 12:30～13:00) を放映中。9/18 (月・祝) に萩原理事長が出演予定。
 - (その 2) (視聴媒体は上記と同様の模様)
 - ・ 当園内にて“虫”を対象とする番組の撮影を 10/3 (火) に撮影予定。
 - ・ 当方より徳永・中川が参加予定。
- (9) 9～10 月活動計画
 - ・ 合同で行う活動、里山活動、調査活動の内容を検討し、活動計画を策定した。
 - ・ コリドー周辺の除草を 10/28 (雨天の場合 10/29) に実施予定。
- (10) 9 月の通信記事
 - ・ 掲載記事について協議した。

2. その他

- (1) 第33回イオン環境活動助成
 - ・ Web形式にて面談(8/23 11:00~12:00、山上)
- (2) 関東ブロック・ユネスコ活動研究会
 - ・ 当NPO活動の報告(9/3 15:20~15:40頃・青山学院大学にて)当分科会出席者は150~200名とのこと
 - ・ 会場では、発表資料とともに、当会リーフレット、会員募集および体験会案内チラシ(8/28発注)を配布予定。
- (3) カシニワ里山体験講座
 - ・ 新規活動者募集フォームの提出(~9/24、住環境再生課)
 - ・ 11/23&12/2に、午前座学、午後フィールドワークのカリキュラムで実施すること
- (4) 柏の葉公園ウォーキングフェスタ協力(10/22 10:00~15:00)
 - ・ 園内の一部にコース設定、トイレ開放のみ

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介 君塚 歩さん



参加動機: 4月に千葉市から柏市に転勤してきました。小さい時から昆虫が大好きで、都市部にあるこんぶくろ池には以前から興味がありました!魅力を発見して伝えていきたいと思います。

貢献できそうなこと: 調査(特に昆虫)

趣味・好きなこと: 昆虫採集・飼育、野球観戦、バレーボール、旅行

取り組んでみたいこと・分野: 生息している昆虫を調べ、子供向け・大人向けで季節に合わせての図鑑を作ってみたいです。

ひとこと: 家でも昆虫(国内外問わず、カブトムシ、クワガタムシ、ゲンゴロウ、アゲハ)、魚(グッピー、アベニーパファー、ベタ)などを飼育しています。誰にも負けないくらい昆虫が好きです!!よろしくお願ひします。